

平成29年10月28日

各位

吉備高原学園高等学校
校長 諸藤 定良

寮で発生した食中毒被害とその対応について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
26日（木）に発生した生徒の健康被害についてご報告いたします。

10月26日（木）未明から、腹痛の症状を訴える生徒が複数名発生しました。
その後も同様の症状の生徒が続き、対象者全員が病院で受診しました。
医師の診断により、食中毒が疑われる状況であるため、保健所に連絡し、診察に当たった
病院の医師、学校医、保健所からの指示を仰いで対処することといたしました。
同日、全校集会を行い、状況の報告と、今後の対策と対応について協力を求めました。
通院した生徒には、保健所からの聴き取り調査があり、原因の究明に向けての調査が進ん
でいます。

学校としては、当面の間、学校外で調理された食事を提供し、学校・寮の全てのトイレは
消毒するなど拡大防止に努めています。

今後も、関係機関の指示を仰ぎながら、生徒の健康状態の把握と回復に向けて、最善を尽
くしてまいります。

一方で食の安全に向けた対策と対応を業者に強く求めています。食堂委託業者の厨房に
対して、保健所の立入検査が行われた結果、27日（金）から5日間の営業停止処分となっ
ています。再開は、11月1日（水）の予定です。

全員が快方に向かっており、すべての生徒が一日も早く安定した寮生活が送れるように、
今後も万全を期してまいります。

保護者の皆様には、多大なご心配とご迷惑をおかけしております。今後の様子についても、
改めてご連絡させていただきます。

現在までの状況と対応について、ご報告させていただきました。